

研究課題名 悪性病変合併潰瘍性大腸炎に対する手術例の検討 に関する情報公開

1. 研究の対象

2000年5月1日～2016年12月31日までに当科で潰瘍性大腸炎に対して手術を受けた方。

2. 研究目的・方法

潰瘍性大腸炎は長期経過例においては炎症を背景とした大腸癌の発生率が高くなることが知られています。悪性病変（癌および高度異型病変）を合併した潰瘍性大腸炎の手術例は近年増加傾向にありますが、その病態や予後に関して一定の見解は得られていません。今回我々は、悪性病変合併潰瘍性大腸炎の臨床病理学的特徴を明らかにするために、潰瘍性大腸炎患者のうち悪性病変合併例を対象とし、悪性病変合併例の年次推移、潰瘍性大腸炎の背景因子、腫瘍因子、治療成績について検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、病理所見、手術記録等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2250

消化器外科二 中山 吾郎

服部 憲史

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 教授 小寺 泰弘